

2013年3月11日
住友化学株式会社

被災地での「理科実験教室」の実施について

住友化学は、東日本大震災の被災地支援の一環として、被災地に社員ボランティアを派遣し、3月20日から3月22日に、小学生を対象とする「理科実験教室」を開催いたします。

住友化学は、これまで被災地のニーズに応えながら幅広い支援活動を展開してまいりました。今回は、小学校が春休みに入る時期に合わせて、小学生が化学の不思議に触れて楽しめるイベントを行う予定です。今後も、被災者の生活再建や被災地の一日も早い復興に向け、さまざまな支援活動を継続してまいります。

「理科実験教室」の概要

概 要：春休みを利用した課外授業として、小学生を対象に、当社製品を活用した化学の不思議や楽しさを体験できる理科実験教室を開催。

期 間：3月20日（水）～3月22日（金）（予定）

場 所：岩手県上閉伊郡大槌町内のショッピングセンターおよび「大槌子どもセンター」など、計3カ所。

実験内容：液晶部材である偏光板を使った「ふしぎなスタンドグラス」の作成、ペットボトルを使った「浮沈子」（ふちんし）の作成。

以上

住友化学は、東日本大震災が発生して以来、社員ボランティアの派遣のほか、さまざまな支援活動を継続してまいりました。住友化学がこの2年間に行ってきた支援活動の一端を、別紙にてご紹介いたします。

住友化学グループの主な被災地支援活動

2011年	
3月	・義援金寄付、救援物資提供… 1
4月	・社員食堂で寄付金付メニューの提供開始（東京本社）… 2 ・「被災地応援マルシェ」開催（東京本社）… 3
5月	・社員食堂で寄付金付メニューの提供開始（大阪工場、大分工場）… 2 ・「被災地応援マルシェ」開催（東京本社・東京住友ツインビル入居企業の共催）… 3
6月	・社員食堂で寄付金付メニューの提供開始（千葉工場、愛媛工場、大江工場）… 2
7月	・CSR推進室に「社会貢献・災害復興支援グループ」設置 ・害虫対策として当社製品（殺虫剤）を各自治体（岩手・宮城の計12市町村）へ無償提供… 4 ・社員ボランティア派遣（岩手県上閉伊郡大槌町、釜石市、宮城県塩竈市）機能性防虫ネット取り付け… 5 ・社員食堂で寄付金付メニューの提供開始（岐阜プラント）… 2 ・「被災地応援マルシェ」開催（東京本社・東京住友ツインビル入居企業の共催）… 3
8月	・社員ボランティア派遣（岩手県上閉伊郡大槌町、釜石市、宮城県塩竈市）防虫ネット取り付け／現地ボランティアセンターを通じての活動… 5 ・「被災地応援マルシェ」開催（大阪工場）… 3
9月	・社員ボランティア派遣（岩手県上閉伊郡大槌町、釜石市）現地ボランティアセンターを通じての活動… 5
11月	・社員ボランティア派遣（岩手県釜石市、大船渡市）機能性インナーウェア無償配布… 5 ・「被災地応援マルシェ」開催（大阪本社・大日本住友製薬の共催）… 3
12月	・社員ボランティア派遣（岩手県釜石市、大船渡市）機能性インナーウェア無償配布… 5 ・「被災地応援マルシェ」開催（大阪工場・大日本住友製薬の共催）… 3 ・「東北コットンプロジェクト」参加… 6

1 義援金の寄付、救援物資の提供

被災者の救援や被災地の復興に役立てていただくため、住友化学は3億円を中央共同募金会へ寄付しました。また、役員および従業員を対象として募金活動を行い、集まった義援金約900万円を被災地（宮城県、岩手県、福島県）への寄付と罹災した従業員への見舞金に充てました。救援物資としては、毛布や日用品などをNGO「ワールド・ビジョン・ジャパン」や日本経団連と協力して被災地に届けました。

2 社員食堂で寄付金付メニューの提供開始

地震の被害や風評被害に苦しんでいる東北・関東地方の農業や水産業に携わる方々を支援するため、社員食堂において、東北・関東地方の食材を用いた寄付金付のメニューを提供しています。会社も集まった寄付金の同額を拠出し、「いわての学び希望基金」「東日本大震災みやぎこども育英基金」に合計約591万円を寄付しました。寄付金は、東日本大震災の津波により親を亡くした子どもたちが社会人になるまで奨学金給付等の支援を行う事業に充てられます。寄付金付メニューの提供は今後も継続する予定です。

3 「被災地応援マルシェ（物産展）」の開催

被災地の農水産物・加工品の物産展「被災地応援マルシェ」を開催しています。近隣企業との共催も含め、これまでに10回のマルシェを開催しており、今後も継続して実施する予定です。

4 衛生害虫対策支援

2011年7月、ハエ等の害虫が大量発生した被災地自治体（岩手県、宮城県の計12市町村）に、当社製品の殺虫剤「スミチオン® 乳剤」「スミラブ® S粒剤」を無償供与しました。

2012年	
3月	・社員食堂で提供する被災地支援メニューの寄付金を「いわての学び希望基金」に寄付… 2
4月	・被災地出身学生向け奨学金の提供… 7 ・「被災地応援マルシェ」開催（東京本社、大阪本社・住友電工の共催）… 3
7月	・社員ボランティア派遣（岩手県釜石市）「夏休み理科実験教室」の開催… 5
8月	・社員ボランティア派遣（岩手県上閉伊郡大槌町、釜石市）「夏休み理科実験教室」の開催、大槌町役場の移転支援の実施… 5
9月	・社員食堂で提供する被災地支援メニューの寄付金を「東日本大震災みやぎこども育英募金」に寄付… 2
11月	・「被災地応援マルシェ」開催（大阪本社・住友電工の共催）… 3
12月	・日立造船とともに津波被害を受けた農地の修復技術を確立… 8
2013年	
2月	・「被災地応援マルシェ」開催（愛媛工場・大江工場）… 3

5 社員によるボランティア活動

これまで3期にわたり、全国の事業所から募った社員ボランティア延べ280名を、被災地（岩手県・宮城県）に派遣しました。現地のボランティアセンターを通じてさまざまな活動を行ったほか、以下の活動を実施しました。

（1）機能性防虫ネットの取り付け（2011年7月～8月）

被災地の沿岸部ではハエなどの害虫の大量発生が大きな問題となっていたことから、仮設住宅のゴミ集積所等に、害虫の侵入を防除できる機能性防虫ネット「タフガード®ネット」の取り付けを行いました。

（2）機能性インナーウェアの無償配布（2011年11月～12月）

被災地仮設住宅等にお住まいの被災者の方に、当社製品のアクリロニトリルを主な原料とする機能性イン

ナーウェア「ヒートファクト®」（イオンのプライベートブランド製品）を個別配布しました（配布数：約10,000着）。

（3）「夏休み理科実験教室」の開催、大槌町役場の移転支援の実施（2012年7月～8月）

夏休み中の小学生が化学の不思議に触れて楽しめるよう、液晶パネルの部材である偏光板など当社製品を使った実験教室を開催するとともに、大槌町役場移転作業の支援を行いました。

6 「東北コットンプロジェクト」への参加

東日本大震災による津波で稲作等が困難になった農地で、被災した農家が綿を栽培し、紡績から商品化・販売を参加各社が共同で展開する「東北コットンプロジェクト」に協賛企業として参加しています。住友化学は、綿花栽培に関する病害虫・雑草防除を提案するとともに、必要な場合には農薬登録を取得するなど、当社の製品やこれまで培ってきたノウハウの活用を通じて活動に貢献したいと考えています。

7 被災地出身学生向け奨学金の提供

2012年4月に大学に入学した被災地出身の学生に対し、大学の学費および生活費を支援する奨学金等を提供しております。この奨学金付与は、一般財団法人教育支援グローバル基金が運営する教育支援事業「ビヨンドトゥモロー」の進学支援プログラムを通じて行っております。

8 津波被害を受けた農地の修復技術を確立

宮城県亘理郡亘理町の水田において実証実験を行い、津波により塩害や微細がれき混入の被害を受けた農地の修復技術を確立しました。実証実験では日立造船が土砂の回収や除塩、微細がれきの除去を行い、住友化学が土壌診断、施肥設計および生育試験を担当しました。今後、この農地修復技術を生かした活動を両社で展開してまいります。